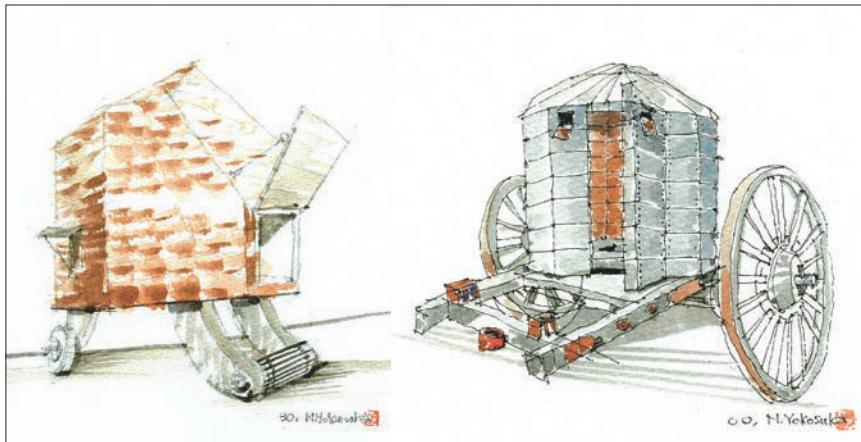


(2018-19年度 国際ロータリー・テーマ)



インスピレーションになろう



「新旧安神車」(水戸市)

## ロータリー在籍20年

松井 忠重 (音楽)

ロータリー在籍20年を迎える、出席規定免除の承認を頂き、深く感慨に耽っております。入会に際し先ず驚いたのが、会式前でのロータリーソング斉唱、更に度肝を抜かれたのが、大の大人が手に手繋いで歌う姿、さすがにこれには、ショックを隠し切れませんでした。

このような様々な驚きは当時、日常茶飯事で例えば、会社を経営し始めた頃、クライアントの偉い方に会った時に、手を挙げて挨拶した処（私は椅子に座っていた）、部下の方が飛んで来て、きちんと目の前に伺い「お世話になっております」と挨拶すべきでしょう、との叱咤を受けた時、成程そういうもんなんだと肝に銘じたこともあります。

編曲家時代はミュージシャン（演奏家）を指名するのが私自身である為、彼らに仕事を与えてるわけですが、むしろ多忙な彼らにお願いする意識が先にあり、力を貸して戴き有難いと感謝する感覚と、私に仕事を与える側（レコード会社、出版社）にしても与えてやっているという感覚を全く感じた事がなかつた為、つまりお互いに感謝し合うという感覚

が常識である、という世界で育って来た認識から、私にとっては驚きと感じたわけです。

17歳よりシンガーソングライターとしてホリプロから給料を貰い、それ以降編曲家として生活して来た為、一般常識からかけ離れていたのかもしれません。

話が逸れましたが、様々な意味でロータリークラブに入った当初は、奉仕の理念等、全く知らない世界に迷い込んだ意識がぬぐい切れませんでしたが、今や歌も違和感無く歌える自分に、慣れというものは恐ろしいものだと感じております。

もし、入っていなかったとしたら、間違いなく知り合う機会のない方と知り合えたこと、親しくお付き合いが出来ている現実、本当に有難い事だと感じております。水戸ロータリークラブへの入会に際し、私の推薦者となって戴いた方々に深く感謝すると共に、今後、苦手な巻頭言を記すことも最後になると思われます。この場をお借り致しまして皆様に深く感謝申し上げる次第であります。

No. 15 2018・10・16

1951年3月6日設立  
1951年3月15日RI認証

■事務所

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階  
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825  
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mito-rc.jp/>

■例会日  
毎週火曜日・12時30分  
常陽銀行本店8階

---

## 【卓 話】 元米山奨学生 宮川健治 先生を訪ねて 米山奨学委員会 岡崎恵一郎 委員長

---



今年度、米山奨学委員会委員長を拝命し、過去の米山奨学生がどのように活躍しているのか気になりました。ある日、クラブ現況報告書を眺めていると、歴代の米山奨学生のリストに日本の帰化名を

お持ちの奨学生がいらっしゃいました。Web検索してみると、茨城県でご開業のお医者さん、そして筑波学園RCのメンバーである宮川健治先生と判明。さっそく、「ぜひ、水戸RC例会にお越しいただきたい」と連絡しましたが、お一人でご開業のため日程が合いませんでした。そこで、9月5日、私がつくば市を訪問し、ビデオメッセージ撮影をさせていただきました。以下、ビデオの内容を抜粋いたします。



水戸RCの皆様、元米山奨学生の宮川健治です。その節は大変お世話になりありがとうございました。

私は、1980年5月私費留学生として台湾から来日し、同年9月日本医師国家試験合格。1982~86年、筑波大学大学院博士課程医学研究科に在学、大学院の4年間、米山奨学生として在籍しました。世話クラブは水戸RC、カウンセラーは故山田榮士郎先生（当時、山田病院院長）でした。

大学院修了後、国立がんセンター、筑波大学病院、筑波メディカルセンターなどに勤務し、1992年宮川内科・胃腸科医院を開院し本日に至っております。なお1989年に日本に帰化しました。



写真は、35年前山田先生のご自宅で山田先生ご夫婦と撮ったものです。山田先生はやさしい方で親子のように接してくれました。そのふれあいは奨学金以上のものでありました。また、RCの会合で何度か山口樓を訪れたことがあり、貧しい留学生にとっては天に昇る気持ちでした。水戸RCのホストで開催された1982~83年度第2820地区大会において米山奨学生を代表してスピーチをしたことよい経験となりました。ちなみに写真中央に写っている当時3歳の長男は、現在千葉県にて医師をしております。

開業して26年の間、ロータリーの精神、社会奉仕および国際交流について心がけてきました。社会奉仕については、つくば市内4つの学校医、独立行政研究所の産業医などをしております。さらに、一層の社会奉仕をするため1998年筑波学園RCに入会し、10年ほど前に米山奨学委員長も担当しました。

国際交流については、日本と台湾のロータリークラブ間の交流に貢献、筑波大学の台湾ウィーク・台湾の大学生の日本との交流事業などに協力、台湾の要人の招聘などを行ってきました。

振り返ってみると、私費留学生として来日した際、収入がほとんどない中、どうやって研究を進めていくか、どうやって家族を養うか、不安で一杯の毎日でした。日本在住三十数年の間、お陰様で大過なく過ごす事ができたのは、ひとえに水戸RCの皆様をはじめ、沢山の方々からのご支援とご指導によるものと考えており、深く御礼申し上げます。

# 例会報告

10月第3例会

司会 松岡委員

## ◇ ビジター紹介

山口(晃)副委員長

水戸南RC……1名、水戸東RC……1名

## ◇ 米山功労クラブ感謝状伝達

牧会長より、米山功労クラブ（第76回）が  
ご披露されました。

## ◇ 米山功労者感謝状伝達

牧会長より、石島 弘之会員には米山功労者  
(第7回)、岡崎恵一郎会員には(第3回)、沼田  
元良会員には(第2回)、土子 仁志会員・  
成田 誠会員・吉原 清寿会員には(第1回)  
が手渡されました。

石井 隆志会員にはメジャードナー米山功労者  
(第12回)、川名 信博会員には米山功労者  
(第3回)、柳沢 一道会員・林 太一会員には  
(第1回)が後日手渡されます。

## ◇ 会長の時間

牧会長

先週のガバナー公式訪問が無事終わり、ほつ  
としております。

高橋ガバナーが一貫して言っていたことは、  
会員増強はロータリーの目的ではないが、近年  
最大の懸案事項です。次にくるのが公共イメー  
ジの向上で、ロータリーデーの開催などもその  
有効な手段です。そして青少年の育成はロータ  
リーの未来をつくるとのことでした。また、長  
年続いている事業は新しいものに変える。もし  
それが上手くいかなかったら、また変えればい  
い。変えないことによって起こるマンネリ化が  
よくない。そして、目標は実現できそうもなく  
なったら、実現可能なものに変えるべき。そう  
でないと意味のない目標になってしまふとも言つ  
ておられました。

懇親会では、高橋ガバナーのことを公私共に  
よく知っている我がクラブのメンバーから、次々  
とお酒を注がれ、照れながら飲んでいました。  
「知り合いが多いから水戸ロータリークラブは  
やりにくいよ」と苦笑していました。また、ぼ  
ろっと「今日は疲れたよ！」と漏しておりまし

た。その言葉を聞いて、内容の濃い充実した公  
式訪問になったのかと勝手に思い、少し嬉しく  
なりました。

会員の皆さん、大変お疲れ様でした。これで  
安心して報告ができます。

## ◇ 出席報告

益子副委員長

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
111名	65名	46名	62.50%

前週訂正出席率 81.48%

前々週訂正出席率 77.36%

## ◇ にこにこBOX

谷川委員長

岡崎会員……米山奨学委員会の卓話を担当させ  
ていただきます。宜しくお願ひ致します。

磯崎会員……銀杏坂のギャラリーへの多数の  
ご来館ありがとうございました。お陰様で  
2,000人の方がいらっしゃいました。

谷川会員……無事ガバナー公式訪問が終了致し  
ました。ニコニコBOXも予定通りの目標を  
達成しておりますが、引き続き宜しくお願ひ  
致します。

本日の合計	3件	15,000円
-------	----	---------

## ◇ 財団BOX

牧 厚志会員……財団の友献金

(第9回) \$100 11,200円  
(累計 \$1,900)

篠崎 和則会員……財団の友献金 (ボリオプラス)

(第6回) \$100 11,200円  
(累計 \$1,600)

齊藤 佳昭会員……財団の友献金

(第9回) \$100 11,200円  
(累計 \$ 900)

この計	3件	33,600円
-----	----	---------

## ◇ 米山BOX

中山 義雄会員……米山功労者献金 (第7回)	10,000円
	(累計 670,000円)
青沼 裕会員……準米山功労者献金 (第1回)	10,000円
	(累計 10,000円)
この計	2件 20,000円

## ◇ 幹事報告

二川幹事

### 1. 会員訃報

幡谷 誠会員（満73歳）には、10月8日午後4時14分にご逝去されました。幡谷会員は、1986年9月16日当クラブへ入会され、在籍32年になられます。1993～1994年度幹事、2012～2013年度会長、2016～2017年度第3分区ガバナー補佐を務められました。何度もなく病を克服されておられましたが、9月18日の例会が最後のご出席となりました。マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（第5回）、ベネファクター、米山功労者メジャー ドナーであられました。在りし日のお姿を偲び、心からお悔やみ申し上げます。葬送の儀は10月13日に執り行われました。

## ◇ 幡谷 誠さんを偲んで

安 啓



10月8日幡谷君が急逝した。数日前に抗癌剤治療のため入院するとの元気な電話をもらった。ジュニアオーケストラの団長職就任を頼んだ経緯があったので、退院したら後任を探そうとの話であった。亡くなる直前まで元気にご家族と話をしていたのに容態が急変したと聞いてびっくりした。お付き合いは水戸JCからで40年からご家族ともに親しい間柄でした。幡谷君は水戸ロータリークラブに1986年から32年間在籍し、幹事、会長、吉澤ガバナーの地区副幹事も勤めクラブ運営に精通し、人の面倒もよく見て若手会員とも親しく、独特の高音と大きな体躯にも拘わら

ず何ごとも細部にまで行き届いた気配りをして会員の誰からも尊敬され親しまれていた。日本酒を愛し、タイガースを愛し、妻子を愛し、実家の鳥取の兄弟を愛し、味の素の代理店の業務もこなし、養父時代からの水戸の財界との繋がりにも誠実に応対して誰からも好かれていた明るい人でした。

幡谷君を喪って、不謹慎ながら故郷土産の美味いあごだし、柔らかな大イカの干物、パリパリの若布干などの味が思い起こされています。初めて出会った頃水戸で受けた最初の印象を聞いたところ、駅前の三の丸ホテルの裏の高台の一等地には三の丸小・二中・附属小・三高・一高と学校ばかりで通学路以外の道路がなくもったいない、開発によっては商業でも観光でももっと発展できるのではないか？と指摘されました。藩校弘道館を中心とした歴史的地域なのだと反論はしてみたが、なるほど街作りの基本計画・展望に欠けていると言えると問題意識の持ち方に地元人には気付かない鋭い指摘であると思われました。

幡谷君は私より若かったので私の弔辞を頼んでおこうと考えていた矢先の急逝に遭い、先後を異にしようとは残念でたまりません。まだ元気であれば水戸の街作りのためにもっと有益な意見が聞けたのにと考えると惜しい人材を喪ったと感じています。ご子息哲太郎君には当クラブに入会して水戸のために衣鉢を継いでもらいたいと思う次第です。



週報担当 片岡 宗嚴 委員長

## 例会予告

10月30日（火）  
卓話「挿絵について」

横須賀満夫 会員

11月6日（火）  
—イニシエーションスピーチ—  
卓話「私と弓道とお札の話」  
吉田 豊 会員

11月13日（火）  
—イニシエーションスピーチ—  
卓話「鉄道の現状と未来」  
(JR東日本の事例をもとに)  
雨宮 愼吾 会員